

令和 02 年度 事務事業評価書

新継区分	継続	事務事業名称	004 平和の語り部育成事業				
担当部	110000 企画開発部	課・室	110801 秘書広報課	所属長名	大山 市子		

(1) 基本情報

基本目標		007 喜びのつながるまち(平和・交流)	施 策	003 平和の推進	
事務事業期間		平成24年度 ～	会計種別	01 一般会計	
経費の性質		5 政策的経費	実施計画対象	1:対象	
事業概要	実施方法	直接実施	実施根拠 (法令や条例等)	糸満市平和啓蒙普及に関する条例	
	目 的	平和啓発事業を幅広く展開し戦争を体験していない次世代へ、平和の尊さと戦争の悲惨さを正しく伝える。			
	対 象	市内の児童・生徒			
	活動内容	・戦争体験者からの沖縄戦の体験講話を聴く ・市内の戦績及び沖縄戦について学ぶ ・現地で平和ガイド研修・実践			
	意図（成果）	平和の尊さと戦争の悲惨さ正しく伝えるため、継承に関わる人材育成			

(2) コスト及び成果

	単位	H31年度決算	R02年度予算	R03年度予算	R04年度予算	R05年度予算
事業費	千円	2,057	1,720	1,720	1,720	0
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	2,056	1,689	0	0
	一般財源	千円	1	31	1,720	0

この事務事業の業務量を数値化したもの・・・活動指標			この事務事業の成果を数値化したもの・・・成果指標		
活動指標名	単位	左記の活動指標とした理由	成果指標名	単位	左記の成果指標とした理由
平和ガイド研修	回	事前研修、座学、現場実習にて、平和ガイド研修	平和関連事業への参加率	%	市が主催する平和関連事業への参加
宿泊研修	回	長崎、伊江島への宿泊研修において、糸満市内と沖縄戦との比較して学ぶ			

活動指標	指標名	単位	区分	H31年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
平和ガイド研修		回	計画値	0	6	8	9	9
			実績値	0	8	2	0	0
宿泊研修		回	計画値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0
			計画値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0

成果指標	指標名	単位	区分	H31年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
平和関連事業への参加率		%	計画値	0	80	80	80	80
			実績値	0	0	0	0	0
			計画値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0
			計画値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0

妥 当 性	①事務事業を実施する妥当性	● 目的は明確で上位の施策に結びついている ○ 目的は上位の施策に結びついていない ○ 内部管理経費のため、上位の施策に結びつかない	説 明 欄
		上記の理由を説明欄にお書きください。 沖縄戦の終焉の地である本市は、平和の発信地として世界の恒久平和を祈念する	
	②行政が関与する妥当性	○ 法令及び条例によりサービスが義務付けられている ● 国、県、市の協調によるもの ○ 民間ではできない、または民間では実施していない ○ 民間に同様・類似のサービスがあるが、質や量等が不十分なため、補完するもの ○ 民間に同様・類似のサービスが存在する	説 明 欄
		上記の理由を説明欄にお書きください。 沖縄戦の終焉の地である本市は、平和の発信地として世界の恒久平和を祈念する	

必 要 性	③市民ニーズ	○ 市民のニーズの有無に関わらず実施する必要がある ● 市民ニーズが増加傾向にある ○ 市民ニーズが現状維持の傾向にある ○ 市民ニーズが減少傾向にある ○ 市民ニーズを把握していない	説 明 欄
		上記の理由を説明欄にお書きください。 沖縄戦終焉の地であり、平和宣言を行っている本市の平和行政に期待するニーズは高い	
	④現時点での優先性や緊急性	○ 緊急事態への対応、最重要施策など最優先して実施する必要がある ● 日常的な安全、生活を確保するために実施する必要がある ○ 公共サービスの平均的水準を確保するために実施する必要がある ○ 現時点での優先性や緊急性は低いものの、市の将来のために実施した方がよい ○ 現時点では必ずしも実施しなくてもよい	説 明 欄
		上記の理由を説明欄にお書きください。 戦争の悲惨さと平和の尊さを次世代へ伝える	

公 平 性	⑤受益者負担は適切か	● 広く市民を対象としていることから適切である ○ 事務事業の対象が特定されているが、受益者には応分の負担があり適切である ○ 事務事業の対象が特定されているが、受益者には応分の負担となっていないため、見直しの余地がある ○ 受益と負担の適正化を求める事業ではない（社会福祉等を目的とする事業など） ○ 公平性の評価になじまない（内部管理業務など）	説 明 欄
		上記の理由を説明欄にお書きください。 沖縄戦終焉の地であり、平和宣言を行っている本市の平和行政に期待するニーズは高い	

効 率 性	⑥事業の成果を低下させずにコスト削減を図っているか否か	○ かなり削減できている ● ある程度削減できている ○ あまり削減できない ○ 削減できない ○ 効率性の評価になじまない	説 明 欄
		上記の理由を説明欄にお書きください。 事業のプレゼンを実施し、より充実した事業内容で、予算内で効果的な成果が上げられる業者の選定をしたいが予算額が少なく委託先の選定に苦慮している	

有 効 性	⑦成果指標の目標値(予測値)に対する達成度	● 目標を上回る ○ 目標を概ね達成している ○ 目標をやや下回る ○ 目標を下回る ○ 成果指標を設定していない	説 明 欄
		上記の理由を説明欄にお書きください。 平和ガイド育成後の利活用について、育成メニューを充実させて、ガイド要請にこたえられる研修生の成熟が必要。	

(4) 評価の総括

所属長所見 1. 妥当性 ● 適切 ○ 見直す余地あり 2. 必要性 ● 適切 ○ 見直す余地あり 3. 公平性 ● 適切 ○ 見直す余地あり 4. 効率性 ● 適切 ○ 見直す余地あり 5. 有効性 ● 適切 ○ 見直す余地あり	総合評価 ・全て適切でA評価 A 現状どおり事業を進めることが妥当 ・適切3～4でB評価 B 事業内容や事業手法に改善を行う余地あり ・適切1～2でC評価 C 事業縮小または内容や手法に大幅な見直しが必要 ・全て見直しでD評価 D 事業の廃止や休止など、事業のあり方について検討する必要あり A
所属長所見 ■ 拡大・充実 □ 現状維持 □ 改善 ■ 民間委託 □ 統合 □ 縮小 □ 休止 □ 廃止 □ 完了	改革改善案（総合評価でA評価の場合は記載不要）